



香川県で5例目の高病原性鳥インフルエンザ発生 三豊市・採卵鶏農場

1. 農場の概要

所在地：香川県三豊市

飼養状況：採卵鶏（約7万9千羽）

1例目 11/5

3例目 11/11

4例目 11/13

5例目 11/15



2. 経緯

- 11/14（土）農場管理者から西部家保西讃支所へ「死亡羽数の増加」の連絡
- 家保が立入検査を行い、簡易検査で13羽中11羽（死亡鶏11羽中9羽、生存鶏2羽中2羽）の陽性を確認。遺伝子検査を実施し、11/15（日）にH5亜型の高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確認。
- 11/15（日）5時25分殺処分開始。翌日11/16（月）4時殺処分完了。

鹿児島県出水市で採取した環境試料〈水〉から 高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が 検出されました（野鳥国内2例目）

- 鹿児島大学が鹿児島県出水市で採取した環境試料〈水〉から、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出（陽性）された旨の報告がありました。この報告を受け、採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化します。



経緯

11月9日（月） 鹿児島県出水市の環境試料〈水〉を採取

11月13日（金） 鹿児島大学が検査を実施した結果、高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出。
採取地点の周辺10km圏内を野鳥監視重点区域に指定し、野鳥の監視を強化。

鳥インフルエンザは主に渡り鳥が保持しており、糞便の排泄等を通じて環境中に排出されます。特に、今の時期は、ため池、湖などに渡り鳥が飛来する為、リスクが高まっています。養鶏農場においては、環境中にウイルスが存在する前提で飼養衛生管理の再徹底をお願いします！

高病原性鳥インフルエンザ防疫のため、以下の徹底をお願いします！

- ★衛生管理区域の出入口における車両、人、物の消毒の徹底
- ★衛生管理区域内における長靴、手指の消毒 ★鶏舎専用の作業着、長靴の使用
- ★扉やカーテンを開放していないか、防鳥ネットや鶏舎の壁、天井に破損や隙間はないか確認・破損があれば直ちに修繕
- ★死亡率の増加や特定症状等、異常が見られた場合の早期発見・早期通報